

四国8の字ネットワークの早期実現について

四 国 部 会 提 出

宿毛市は、四国の西南端に位置し、地理的、地形的要因により、高規格道路をはじめとする道路整備が遅れ、産業や経済面での立ち遅れを余儀なくされている。

そのような中、令和2年7月には中村宿毛道路の全線開通、令和3年2月には高知南国道路が全線開通、令和4年度には宿毛内海道路（宿毛新港～一本松、御荘～内海）、奈半利安芸道路（安田～安芸）が新規事業化されるなど、四国8の字ネットワークの整備は着々と進められており、地域間の定時性・速達性が確保され、地域経済の発展に大きく寄与している。

しかしながら、近年、頻発化・激甚化している大規模な自然災害により全国各地において甚大な被害が発生している。また、発生確率が益々高まる南海トラフ地震の発生により、沿岸部では大津波が予測され、地盤沈下を伴った長期浸水や幹線道路である国道の寸断が懸念されていることから、ダブルネットワークを構築し、災害に強い強靱なネットワークを形成する必要がある。

さらに、新型コロナウイルス感染症や昨今の物価高騰等、地域経済は大きな打撃を受けており、地域経済を下支えし、物流・観光等の経済活動を復興するためにも、四国8の字ネットワークの整備は急務である。

については、四国8の字ネットワーク整備の加速化を図り、地域経済の活性化や産業・観光振興の飛躍を目指すとともに、来るべき大規模災害に備えるために、次の事項を要望する。

記

1. 四国8の字ネットワークの事業中区間の早期整備を図ること。
2. 四国8の字ネットワークの未事業化区間の早期事業化を図ること。
3. 高規格道路ネットワークをはじめとする道路整備及び長期安定的な維持管理が図られるよう、所要額の確保を図ること。